

表1 猪串湾赤潮プランクトン検鏡結果

令和4年8月22日

単位:細胞数/ml

採集地点	調査時間	水深 (m)	水温 (°C)	塩分 (PSU)	溶存酸素 (mg/l)	シャットネラ	カレニア	ヘテロシグマ	コクロディニウム
						sp.	ミキモトイ	アカシオ	ホリクリコイテス
1. 森崎	10:01	0	27.6	33.51	7.5	0	0	275	0
		2	25.7	33.39	7.3	0	0	75	0
		5	25.0	33.54	7.0	0	0	0	0
		8	24.6	33.77	7.1	0	0	0	0
		10	23.7	33.82	6.6	0	0	0	0
		13.9	23.3	33.95	3.5	0	0	25	0
2. 越田尾	9:55	0	27.5	33.32	7.3	0	1	100	0
		8	24.5	33.73	7.1	0	2	0	0
3. 猪串						欠測			
4. 鵜の糞						欠測			
5. 小蒲江	9:45	0	27.1	33.71	7.2	0	0	0	0
		11	23.6	33.83	7.0	0	0	0	0
6. 屋形島	9:41	0	26.9	33.75	7.3	0	0	0	0
		12	23.5	33.86	7.0	0	202	0	0
7. 赤バエ						欠測			
8. 蒲江赤灯台			***	***	***	0	0	0	0
			***	***	***	0	513	0	0
9. 丸市尾			***	***	***	1	0	0	0
			***	***	***	0	1	0	0
10. みごの浦	9:35	0	26.8	33.62	7.6	0	0	50	0
		5	24.9	33.65	6.9	0	0	0	0

※0mの水温・塩分・DOはクロロテックの0.5mの測定データによる

※8,9は南部振興局採水

参考:赤潮注意・警戒密度(単位:細胞数/ml)

プランクトン	注意密度	警戒密度
シャットネラ spp.	10以上	100以上
ヘテロシグマ・アカシオ	5000以上	50000以上
カレニア・ミキモトイ	200以上	2000以上
コクロディニウム・ホリクリコイテス	30以上	300以上

* 警戒密度は漁業被害が想定される密度です。

* アラビ、サザエ等ではカレニア・ミキモトイで100~200細胞/mlで斃死する可能性があります。

* マグロに関しては、赤潮注意・警戒密度に1/10を乗じた細胞密度とする。

連絡事項

有害プランクトンのシャットネラ spp.、カレニア・ミキモトイとヘテロシグマ・アカシオが確認されています。

特に屋形島、蒲江赤灯台ではカレニアミキモトイが注意密度を超えています。

魚介類の管理にくれぐれもご注意ください。

